

2025年10月14日

各 位

会 社 名 株式会社明光ネットワークジャパン
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 岡 本 光 太 郎
(コード番号 4668 東証プライム)
問合せ先 取 締 役 経 営 企 画 部 長 坂 元 考 行
(TEL 03-5860-2111 代表)

**2025年8月期通期連結業績予想と実績値との差異および中期経営計画（2025年8月期-2027年8月期）
における経営指標（計画）の修正に関するお知らせ**

当社は、2025年10月14日開催の取締役会において、2025年7月10日に発表しました2025年8月期通期連結業績予想と本日発表の2025年8月期通期連結業績の実績値に差異が生じたことおよび中期経営計画（2025年8月期-2027年8月期）における経営指標（計画）を上方修正することについて決議しましたので、お知らせします。

1. 2025年8月期連結業績予想と実績値との差異

（1）連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 24,500	百万円 1,500	百万円 1,570	百万円 1,320	円 銭 52.30
実績値（B）	24,827	1,691	1,868	1,727	68.44
増減額（B－A）	+327	+191	+298	+407	
増減率（％）	+1.3％	+12.8％	+19.0％	+30.9％	
（参考）前期連結実績 （2024年8月期）	22,579	1,010	1,163	489	19.41

（2）差異の理由

当社は、2025年8月期を初年度とする3ヵ年中期経営計画「MEIKO Transition」を始動し、課題である収益力を改善するために、将来の利益創出のための投資と現在の収益力改善の両面から「Business Transition」と「Human Transition」という2つのTransitionを断行しております。

こうした中で通期連結業績が予想を大きく上回った主な理由は、次の通りです。

① 明光義塾直営事業の収益改善

主力事業である明光義塾事業において引き続き問い合わせ件数が堅調に推移し、在籍生徒数が想定を上回った結果、売上高が増加しました。特に明光義塾直営事業においては、カンパニー制のもと、地域ごとの特性に応じた戦略ユニットを編成し、戦略の選択と集中を徹底するとともに、戦略ユニットごとの収益管理を可視化したことで収益力が改善しました。その結果、売上高の増加分が利益改善に直結し、営業利益の増加に大きく貢献しました。

② 日本語学校事業およびその他事業の成長

日本語学校事業においては、インバウンド需要の拡大を背景に生徒数が増加し、収益力が向上しました。またその他事業においても投資段階を経て順調に成長を遂げ、グループ全体の利益創出に貢献しています。

③ 特別利益の計上

当社は、2025 年 6 月 25 日に公表した「公開買付への応募および特別利益（投資有価証券売却益）の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当社が保有する株式会社ウィザス（証券コード 9696）の普通株式の全てについて、株式会社 NSSK-J1 を買付者とした公開買付けに応募しました。当該公開買付けが成立し、株式を売却した結果、2025 年 8 月期第 4 四半期において投資有価証券売却益として 782 百万円の特別利益を計上しました。

2. 中期経営計画（2025 年 8 月期-2027 年 8 月期）における経営指標（計画）の修正

（1）当初経営指標（計画）と修正経営指標（計画）の差異（単位：百万円）

	中期経営計画最終年度 (2027 年 8 月期) 連結売上高	中期経営計画最終年度 (2027 年 8 月期) 連結営業利益
当初経営指標（A）（2024 年 10 月 10 日発表）	24,000	1,500
修正経営指標（B）	26,500	2,000
増減額（B－A）	+2,500	+500
増減率（％）	+10.4％	+33.3％
（参考）2025 年 8 月期連結実績	24,827	1,691

（2）修正の理由

当社は、3 カ年中期経営計画「MEIKO Transition」（2025 年 8 月期-2027 年 8 月期）において、「Business Transition」と「Human Transition」という 2 つの Transition を断行した結果、最終年度（2027 年 8 月期）に計画していた売上高、営業利益、および ROE の各目標を初年度（2025 年 8 月期）に達成しました。

この初年度の目標達成を好機と捉え、その先の 100 年企業への成長を加速させるため、残りの期間における経営目標についても上方修正し、企業価値の一層の向上を目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援とご期待を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以 上